

高薄町長

公園は町内に21か所ある。一般的で安全な遊具を設置しているが、年数が経っており、塗装を繰り返している状況。

今後は清水・御影に各1か所、大きな遊具を集中して設置し、小さい公園は、ボールをけて遊べるような広場にして、安全管理がしやすいものを設置する方向で考えていきたい。



中央公園の遊具

独居老人に対する見守り対策

佐藤幸一議員

独居老人がいきいきと

暮らしていける社会にするため、地域コミュニティーを醸成し、地域の連帯感を高めていくことが大切であると考えますが、地域組織の設立などに向け、どのような施策を展開する考えか伺う。

高薄町長

民生委員の方には該当世帯の安否確認などを、町内6事業所には配達などで高齢者の見守りをしていただいている。

一番身近な町内会や農事組合などの活動をもう一步進めていかなければならない。

現在、地域包括ケアシステムの構築を推進しており、今後も引き続き取り組んでいこうと、社会福祉協議会と話をしている。

町の表彰制度

佐藤幸一議員

町の表彰条例に基づくと

表彰対象者を把握する方法として、特に善行賞の対象者を町民から推薦いただき、人命救助などで活躍している方を顕彰してはどうか。

高薄町長

現在の表彰については、毎年基準日が10月1日で、7月末までに該当者の調査や聞き取りをしている。善行賞については、基準日にこだわらず、該当する事例があれば表彰したい。

十勝清水駅の跨線橋対策

佐藤幸一議員

①過疎債対応事業に該当するの可否かを伺う。

②現在のJRとの協議状況について伺う。

③実現の見通しについて伺う。

高薄町長

①過疎債は、該当しない。  
②JR側から試算表を提出してもらえるところ

とであったが、いまだに提出がない。JR側に出向き、内容をよく聞き、鉄道事業本部長などにも改めて要望していく。

③実現の見通しについては、非常に難しい問題があり、JRの計画に組み入れてもらわなければできない。さまざまな機関を通じて政策要望も出しており、引き続き努力をしていただくようお願いします。

文化・スポーツ活動に子どもを送迎を

安田 薫議員

近年は共働きが多く「子どもを送り迎えができない」との話をよく聞く。

少子化時代、子どもがより大きく育つためには、放課後の文化・スポーツ活動は必要になってくる。

一人ひとりの子どもを夢をかなえるためにも、スクールバスやコミュニティーバスの運行を検討し

てはいかがか。

三澤教育委員長

スクールバスは、放課後の活動のうち、学校の管理にならない活動については、国の補助金を受けている関係もあり原則利用できない。また、下校時の運行時間帯と重なるともあり、送迎については難しい。

高薄町長

コミュニティーバスの路線は運輸局の許可が必要で難しい。

他に何かできないか考えていきたい。

地域医療の危機的状況

高橋政悦議員

国が進めてきた医療政策により、地域医療は危機的状況に陥っていると、思うが町長の見解を伺う。

清水赤十字病院は、採算性を無視して、救急医療等、地域社会のセーフティーネットとしての役割

割を担っていると思うが、現実問題としてそれが病院経営を圧迫し、ニーズにこたえられない状況が見受けられる。

そこで、清水町における今後の医療ビジョンと、公的病院とはいえ公立ではない組織に対する今後の関わり方と支援方策についての考えを伺う。

高薄町長

地方の医師不足や看護師不足は新医師臨床研修制度が大きく影響している。

医療・福祉体制ということでの計画はあるが、受診側を主としたものであり、供給側のことについてはほとんど触れていないので、医療ビジョンというものをこれからしっかりと作り上げなければならぬ。

安全・安心な生活が一番であるので、町民の理解を得ながら、今後も清水赤十字病院への支援は続けていかなければならないと考えている。